

令和4年度

川崎市立東高津小学校

学校説明会資料



令和4年5月6日（金）

学校説明会資料 目次

- 1、令和4年度 川崎市立東高津小学校 教育活動
- 2、各学年の目標
- 3、校内研究
- 4、キャリア在り方生き方教育
- 5、児童指導・児童支援教育
- 6、防災について
- 7、保健室より
- 8、給食室より



・教育関係法令
・学習指導要領等
・かわさき教育プラン

学校教育目標

考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩

- ・自分も相手も大切にする子
- ・夢や希望をもって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・自分らしく健康な子
- ・地域とつながり貢献する子

今年度の重点目標

A 多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

B よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

C 主体的、対話的で深い学びを実現しよう

D 誰もが自分らしく安心して心身を育む環境をつくろう

E 安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

重点にかかると具体的な取組

- ① 子ども一人一人の自己肯定感や有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や、互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てる。
- ② 「なりたい自分」を大切にし、人としての在り方生き方の軸を大切にしていくなかで、様々な課題を乗り越えられる生きる力を育てる。
- ③ 自分のめざす「ひがたかっ子」になるための目標設定や振り返り等を行い、「キャリア在り方生き方教育」の推進を図る。
- ④ 共生*共育プログラムを推進し、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てる。

- ① よりよい生活を送るために、目標に向かって努力する子どもを育てる。
- ② 「自分が」や「自分たちが」と本気になれる対象を見付け、子どもたちが主体的に考えて行動に移せるように、一人ひとりの意見を聞いたり、伝えたりする場を設ける。
- ③ 挨拶やきまり、社会のマナー等の大切さを知り、進んで守ろうとする子どもを育てる。
- ④ 学校生活をより豊かなものにするために、学校や学年、学級といった集団全体を見て、自分ができることをしようと子どもを育てる。
(実行委員や係活動など)
- ⑤ 子どもの意見が反映されるように委員会活動やクラブ活動での話し合いを充実させ、連携し合ってより良い学校をつくる場の設定をする。
- ⑥ 子どもの心身を育む食育の推進、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進する。

- ① 学校教育目標の実現に向けて、校内研究を通して、協力して教材研究を行い、授業を公開することで互いに学び合い、授業力の向上を目指す。
- ② 研究を通して育てたい力を明確にし、育成を目指す。
- ③ 学年ごとに研究の視点となる「めざす子どもの姿」を明確にして取り組む。
- ④ 校内研究「国語科」を通して、「話す」「聞く」力を育てていく。

- ① 子どもの声に耳を傾け、面談の時間を確保し、いじめ・不登校の早期未然防止に努め、チーム体制での対応を行う。
- ② 対人関係等で困り感があったり、個別に支援が必要だったりする子どもたちに対して個に応じた支援を充実させる。
- ③ 学年・学校全体で子どもたちにかかわることを意識し、全教職員による児童理解の上に立った児童指導・支援の体制を充実させる。
- ④ 保護者や地域の方が話しやすいように心がけ、全教職員で連携して、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤ 学校巡回カウンセラーと協力して、児童理解や教育相談を充実させていく。

- ① 授業参観や学校・学年行事等を公開し、学校ホームページ、学校・学年だより、懇談会等の充実を努め、積極的に情報の発信を行う。
- ② 安全な学校生活を送れるように保護者・地域と連携し危機管理意識を高めると共に、子ども自らが命を守る防災・防犯教育を推進する。
- ③ 情報機器等の危険を意識して利用する情報モラル教育を家庭・地域と連携して推進する。

〈1年〉

- 友だちを思いやり
仲よく助け合う子
- 話をよく聞き、
よく考え、学習する子
- 楽しく学び、自分の
思いを伝えようとする子
- 自分らしさを大切に、
明るく元気に過ごせる子
- 何でも最後まで
がんばろうとする子

〈各学年から〉
【学校教育目標】

考えよう

やってみよう

みんなの本気が

明日への一歩

〈個別学習室〉

- 元気にがんばる子
自分のできそうなこ
とに挑戦し、最後まで
がんばろう。
- かかわる子
友達と遊んだり、学
習したりしよう。

〈2年〉

**チャレンジ！
オレンジ！
明日へジャンプ！**

- 自分の考えをもち、みんな
に伝えよう！
- 新しいこと、苦手なことに
も挑戦しよう！
- できること、得意なことを
今より増やして3年生へ！

【めざす子どもの姿】

- ・自分も相手も大切にする子
- ・目標に向かって一生懸命に
取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互い
に高め合う子
- ・心身共に健康な子
- ・地域のために貢献する子

〈6年〉

継（つなぐ）

- 今までの6年生の姿をそれ
ぞれが思い出し、その素晴ら
しい姿を自分たちが受け継
いでいく。
- 受け継ぐだけでなく、より
よい学校生活になるよう
様々な場面において自分達
で考え付け加えていく。
- 下級生が受け継げるように、
最高学年という意識を常に
もって行動する。

〈3年〉

- 友だちと助け合い、3年生のチ
ームワークを大切にしよう。
- 自分の目標をもって、最後まで
がんばろう。
- 進んで取り組み、自分の考えを
伝えよう。
- 自分も友だちもまわりの人も
大切にしよう。
- 自分の住んでいる地域を知っ
て、好きになろう。

〈4年〉

四高

～よく考え、試し、
高みを目指す四年生～

- 友達のことを考え、仲良く
協力し合おう。
- よく聞き、よく話し、めあ
てに向かって行動しよう。
- 進んで運動や学習に取り
組み、何事も好きになろ
う。
- 自分の住んでいる地域と
かわり、見方を広げよ
う。

〈5年〉

- 自分も仲間も思いやり、大
切にしよう。
- よく聴き、よく考え、めあ
てに向かって行動しよう。
- 進んで考えを伝え合い、互
いに高め合おう。
- 自分のよさを認め、心も体
も健康でいよう。
- 東高津の地域に住む一員
としての自覚をもとう。

【校内研究】

「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」を体現する子どもたちを目指して
～話す・聞く力を育てる～

平成30年度に児童・保護者・教職員の声をもとに考え、令和元年度に一新した学校教育目標「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」と研究テーマを兼ねることで、教師にも子どもにも目指す姿が明確になるようにしました。

昨年度は特別活動を通して、「見つける力」「活用する力」「かかわる力」の育成を行ってきました。その中で、子どもたちの話す（表現する）力・聞く力の育成が新たな課題として挙げられました。これを踏まえ、今年度はサブテーマを「話す・聞く力を育てる」とし、国語科の授業を中心に子どもたちに力を育むことを目指していきます。子どもたちが主体的に「自分の意見を考えたい！考えたことを伝えたい！友達の話を知りたい！」と感ずることができるような授業づくりについて研究し、教師の授業力向上を図ることで、目指す子ども像に近づいていけるようにしていきたいと考えています。

【キャリア在り方生き方教育】

「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現すること）を促す教育です。本校では、キャリア在り方生き方教育の目標を設定し、各教科の学習、総合的な学習の時間や学校行事などの学校教育全体を通じて必要な資質・能力の育成に取り組んでいきます。「キャリア在り方生き方教育」を推進している川崎市では、「キャリアノート」の一部を「キャリアパスポート」に小学校1年生から高校3年生まで蓄積するようにし、自己を振り返り将来の生き方を考える一助として活用していきます。

【児童指導・児童支援教育】

☆東高津小学校のすべての児童が、
学校生活を楽しく充実して過ごす
ための取り組みをしていきます。

- ・支援教育コーディネーターは、校内の児童支援活動を進めています。児童の実態把握や保護者との連携、授業の観察を行い、それらの情報に基づいて、担任・学年・養護教諭・コーディネーター等を中心に、全職員でどのような支援ができるか話し合っていきます。
- ・いじめ防止基本方針を策定し、職員で研修して、いじめ防止や暴力行為の未然防止に努めていきます。

【防災教育】 *防災教育では、すべての教科活動を通じて防災対応能力を培っています。

<防災教育 実際の取り組み一例>

1. 月に1回程度の避難訓練を実施しています。火災時の出火元の変更や地震のみの訓練、洪水時の授業など様々な場合を想定して取り組んでいます。またそれに合わせて、休み時間等の災害時に子ども一人一人が安全に避難できるよう、避難経路を色別で指示できる環境を整備しており、実際にその避難経路を利用した訓練にも取り組んでいます。
2. 川崎市内に震度5強以上の地震が発生した場合や、その他大きな災害が発生した場合を想定し、保護者の方に協力をしてもらい「災害時引き取り訓練」を行っています。この訓練では、徒歩での来校や、実際の引き取り手順を行う等、実践的な訓練を行っています。
3. 年に数回、下校時刻に合わせて保護者の方にお迎えに来ていただく「お迎えパトロール」を実施しています。これは、気象状況が悪い中での登下校の際、どの場所に危険が潜んでいるかの確認を行っています。
4. 悪天候時等、子ども一人一人での下校に危険の可能性が伴う場合を想定し、「緊急時下校訓練」を実施しています。住んでいる地域によって色分けされたコースごとに教員が付き添い、子どもの安全を確認しながら一斉に下校をする訓練に取り組んでいます。
5. 校内に不審者が侵入した場合を想定した「不審者対応訓練」を実施しています。職員だけで行う訓練を事前に行うことで、正しい行動や知識を身に付けることができるように務めています。また、そこで身に付けた知識をもとに、児童にも正しい行動が取れるように訓練を行っています。

【保健室から】

●本年度の目標

自分のからだに関心を持ち、進んで健康を保とうとする子どもの育成

<基本的な方針>

1. 開放的で明るく、心身の休まる保健室にするように努めていきます。
2. いつでも子どもが自分の健康問題の解決のために活用できる健康センター的な保健室を目指しています。

○来室者への個別指導の充実

○保健指導の充実

病気、けがの予防に努める。

○家庭との連携

○組織的な対応

*子ども一人一人の声を丁寧に聴くことに努め、からだだけでなく、心の健康も支援していきます。

【給食室から】

●本年度の目標

1. 安全で安心できる給食、おいしい給食、楽しい給食を目指していきます。
 - ・学校全体で『楽しい給食時間』が過ごせるように、委託業者と綿密に話し合い、給食室の衛生管理の徹底を図り、給食を通して「食」の大切さを伝えるようおいしい給食を作ります。
2. 子どもの健康的な食生活の習慣が形成されるように食育(食に関する指導)を進めていきます。
 - ・子ども自らが健康に関心を持ち、望ましい食習慣が形成されるよう、特に学級活動・家庭科保健等の時間で積極的に子どもと関わっていきます。
 - ・子どもが食に関心を持ち、基本的な知識が自然に身につけられるよう、給食指導資料を発行します。また、給食だよりを通して、保護者へも給食や食に関する意識を高められるよう食育をすすめていきます。